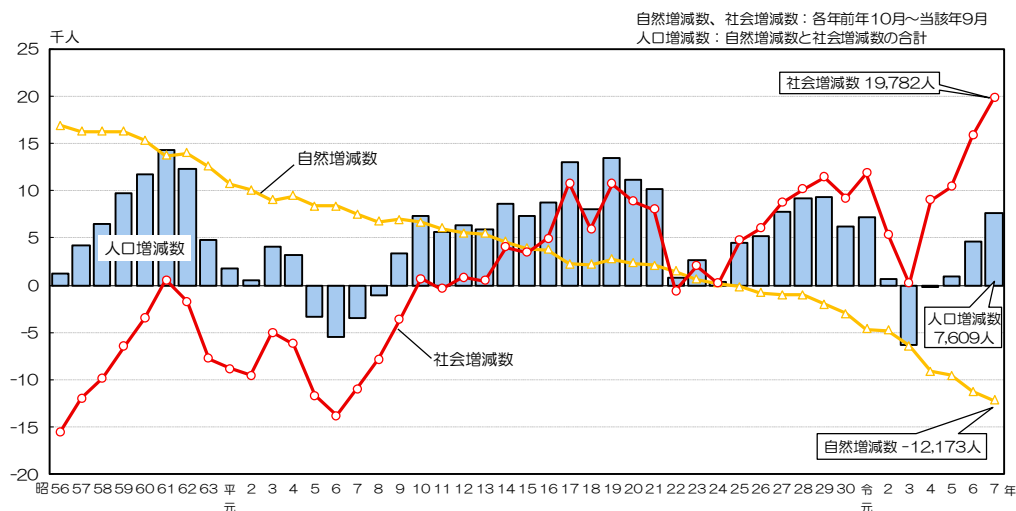


令和 7 年愛知県人口動向調査結果（名古屋市分） 「名古屋市の自然動態・社会動態」

- ・ 令和 6 年 10 月から令和 7 年 9 月までの 1 年間の本市の人口動向をまとめたものである。
- ・ 本資料における人口増減数は、自然増減数と社会増減数の合計である。
- ・ 特に記載があるものを除き、日本人と外国人の合計である。

1 人口増減（本編 p1）

自然増減数、社会増減数及び人口増減数の推移



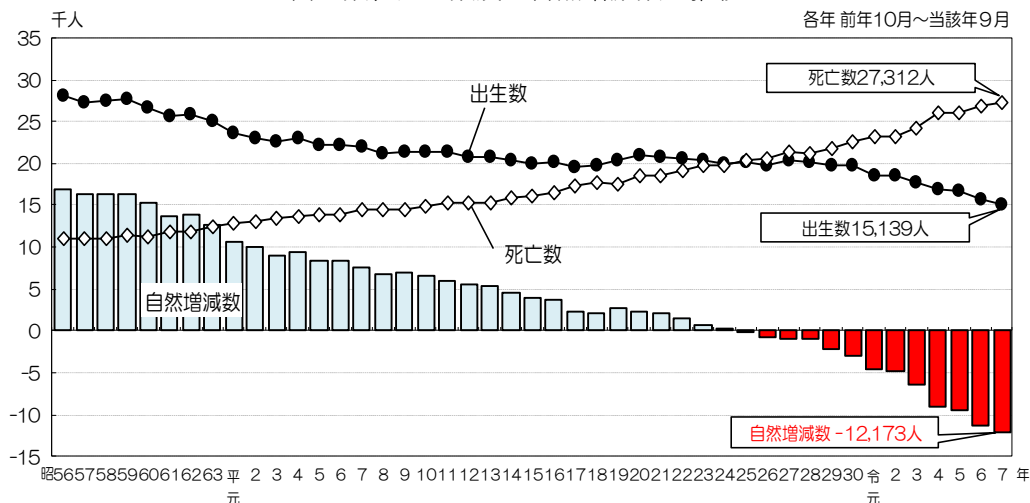
令和 7 年
自然増減数 △ 12,173 人
社会増減数 + 19,782 人
人口増減数 + 7,609 人

社会増の拡大により
人口増が拡大

（注）社会増減数には、市外との移動のほか、市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減、平成 24 年 7 月の法改正に伴う外国人人口の取扱変更による数値変動）を含む。

2 自然動態（本編 p1）

出生数、死亡数及び自然増減数の推移



令和 7 年
出生数 15,139 人
（前年比 △520 人）
死亡数 27,312 人
（前年比 +393 人）

出生数は**過去最小**
死亡数は**過去最大**

平成 25 年以降
13 年連続かつ
過去最大の自然減

自然増減数とは？

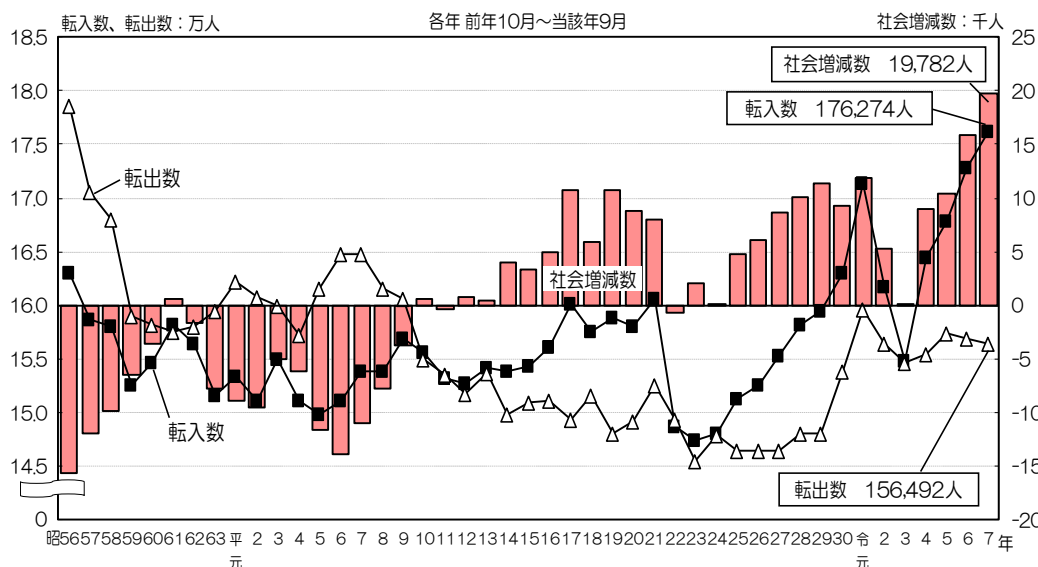
- ・ 「出生数－死亡数」により求める。
- ・ 出生数が死亡数より多いとき「自然増」、またその逆を「自然減」という。

社会増減数とは？

- ・ 「転入数－転出数」により求める。
- ・ 転入数が転出数より多いとき「社会増」、またその逆を「社会減」といい、それぞれ「転入超過」、「転出超過」ともいう。

3-1 社会動態（年次推移）（本編 p3）

転入数、転出数及び社会増減数の推移

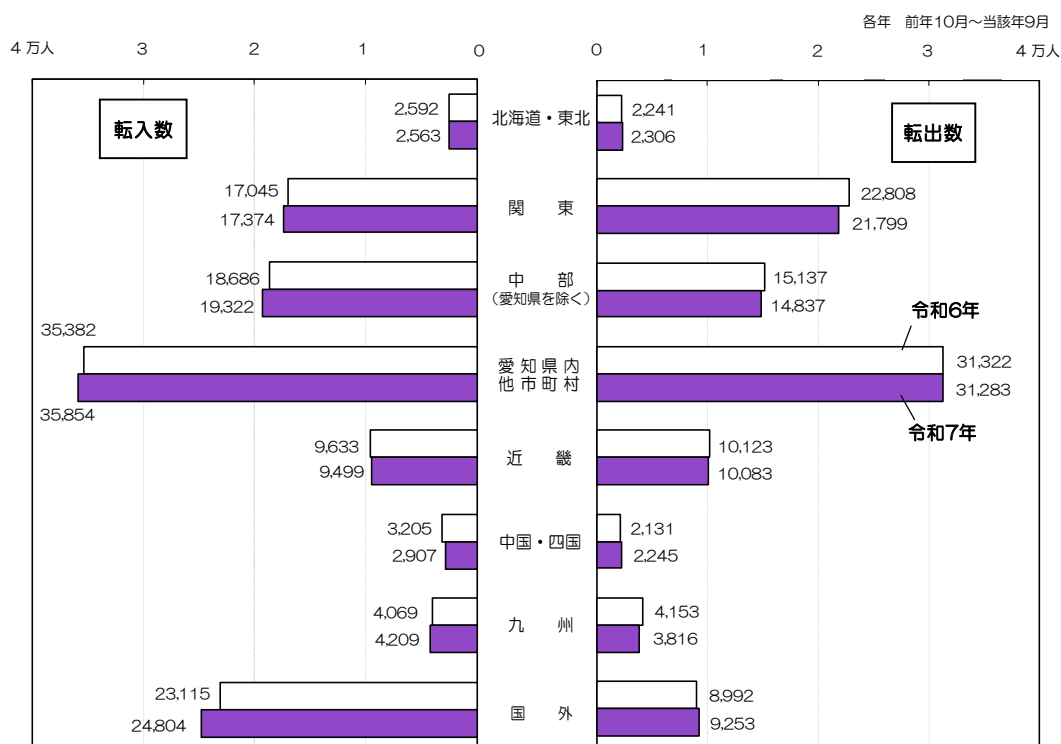


令和 7 年
 転入数 176,274 人
 （前年比 +3,438 人）
 転出数 156,492 人
 （前年比 △503 人）
 平成 23 年以降
15 年連続の社会増
（本市への転入超過）
 転入数の増加により
 社会増は大きく拡大

（注）転入数、転出数及び社会増減数には、市区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減、平成 24 年 7 月の法改正に伴う外国人人口の取扱変更による数値変動）を含む。

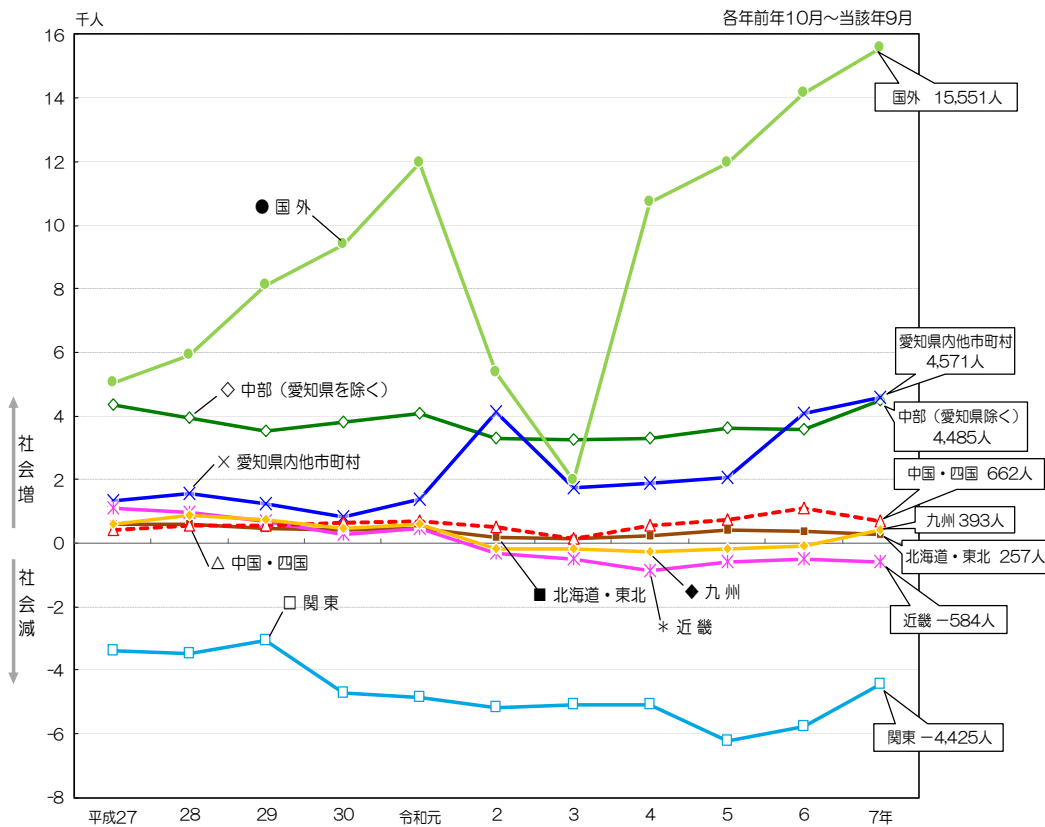
3-2 社会動態（地域別）（本編 p3）

地域別本市への転入数及び本市からの転出数（令和 6 年と令和 7 年の比較）



令和 7 年
 転入数は 35,854 人の
愛知県内他市町村が最多
 次いで国外
 転出数は 31,283 人の
愛知県内他市町村が最多
 次いで関東
 前年と比較すると
 転入は国外に対して最も増加 +1,689 人
 転出は関東に対して最も縮小 △1,009 人

地域別本市からみた社会増減数の推移



令和7年

地域別本市からみた
社会増減数は

社会増は+15,551人の

国外が最大

次いで愛知県内他市町村

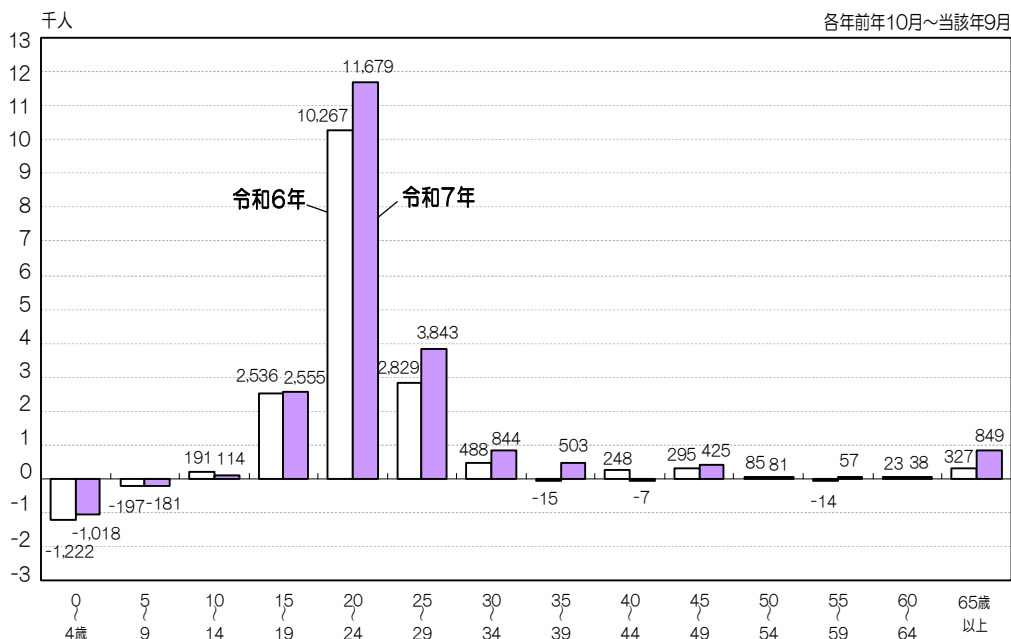
社会減は△4,425人の

関東が最大

次いで近畿

3-3 社会動態（年齢階級別）（本編 p7）

年齢5歳階級別社会増減数（令和6年と令和7年の比較）



令和7年

年齢5歳階級別社会増減数は

社会増は+11,679人の

**「20～24歳」が
顕著に大きい**

〔20～24歳社会増の内訳〕

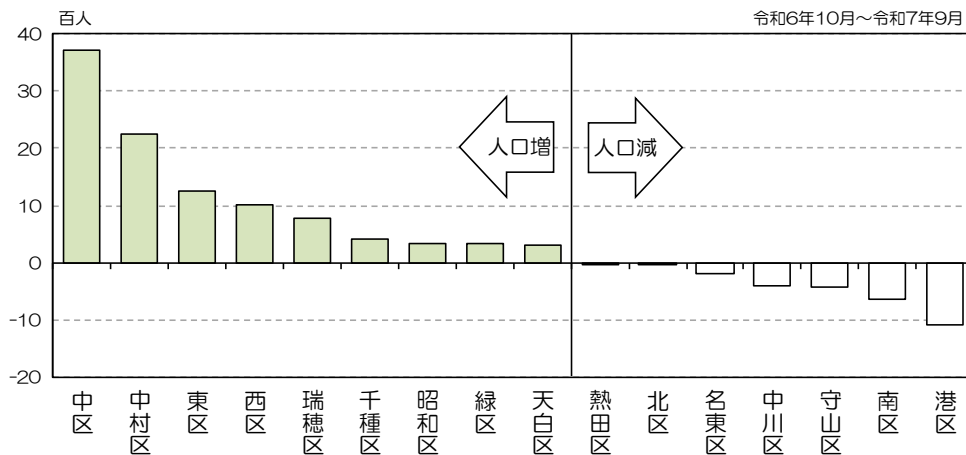
日本人 7,606人

外国人 4,073人

（注）市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

4 区別動向（本編 p11）

区別人口増減数（人口増減数の降順）

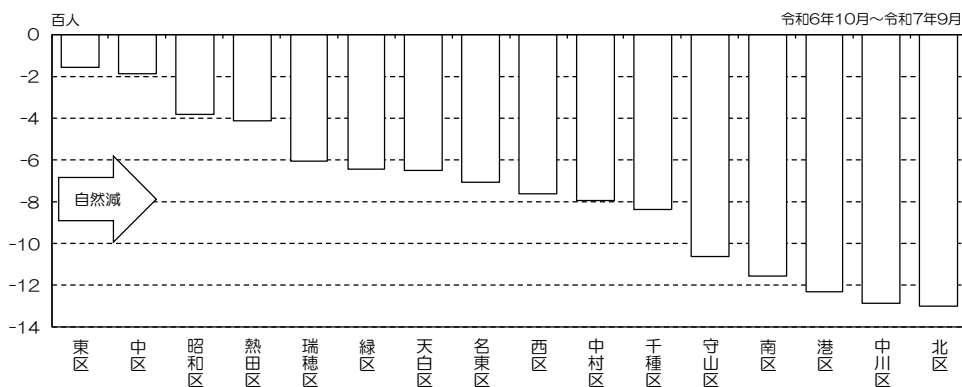


令和 7 年
区別人口増減数は

中区はじめ
9 区で人口増

港区はじめ
7 区で人口減

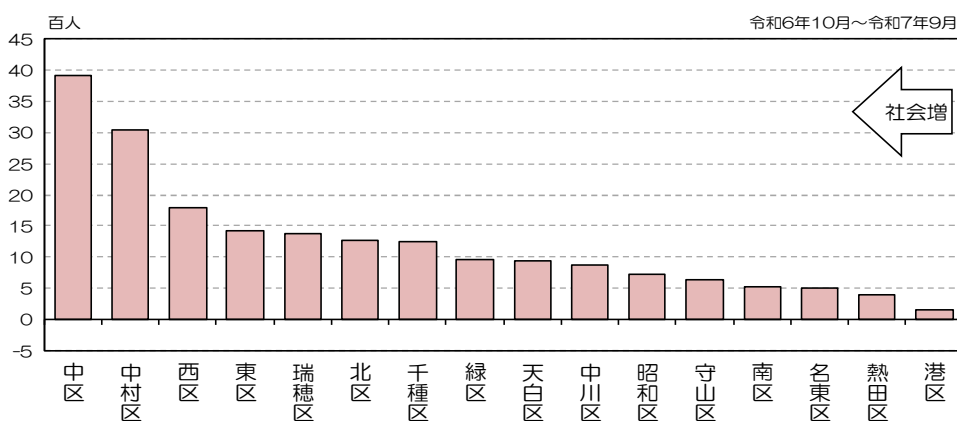
区別人口増減数の内訳① 区別自然増減数（自然増減数の降順）



令和 7 年
区別自然増減数は

全ての区で自然減

区別人口増減数の内訳② 区別社会増減数（社会増減数の降順）



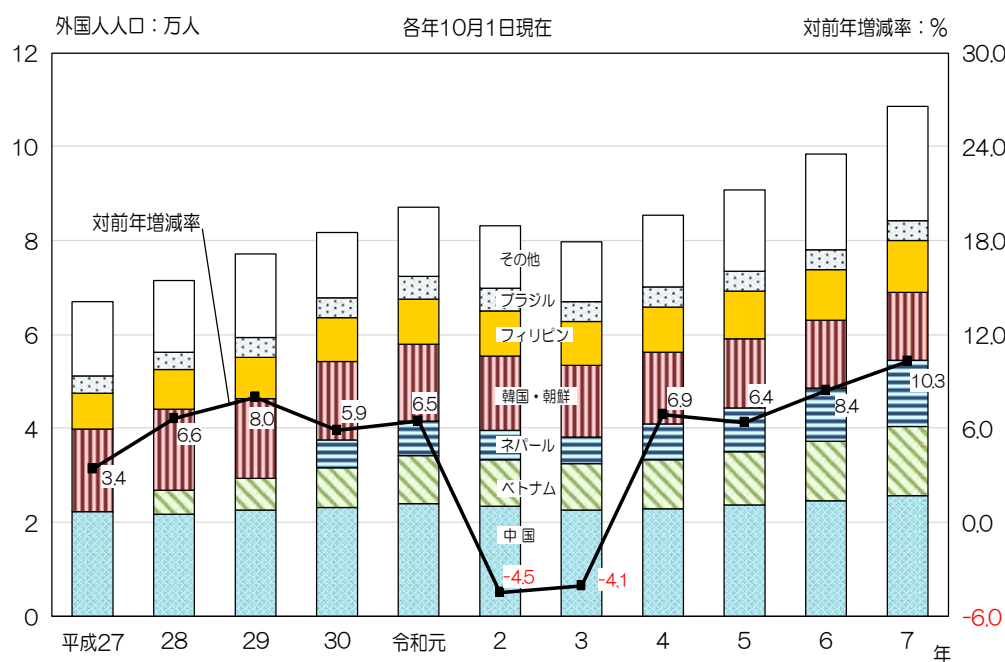
令和 7 年
区別社会増減数は

全ての区で社会増

（注）社会増減数には、市外との移動のほか、市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

5 国籍・地域別外国人公簿人口（本編 p14）

国籍・地域別外国人公簿人口及び対前年増減率の推移



(注1) ベトナムについては、平成27年は「その他」に含めて記載している。
(注2) 中国については、平成27年は台湾を含めた数値で記載している。平成28年以降は台湾を「その他」に含めて記載している。
(注3) ネパールについては、平成29年以前は「その他」に含めて記載している。

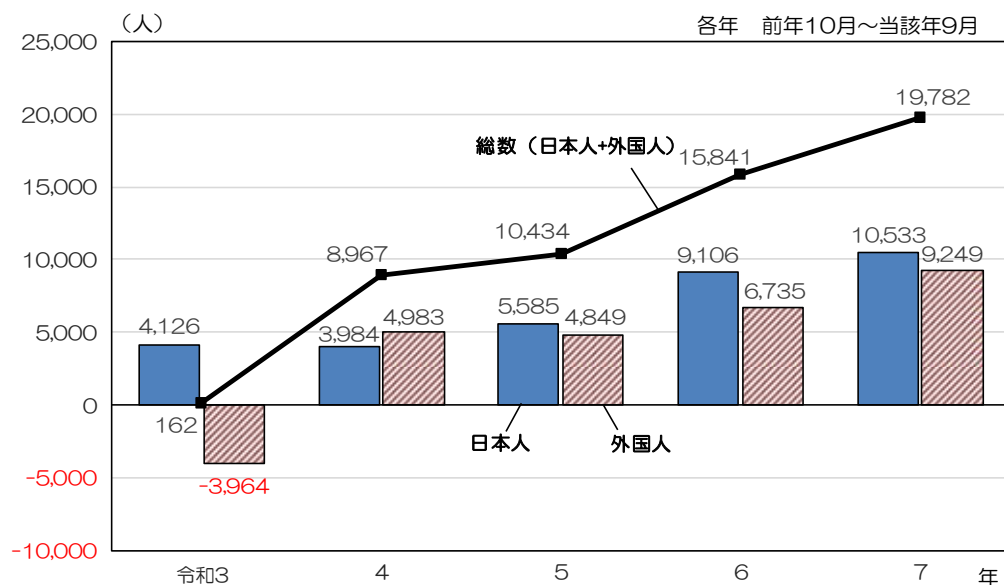
令和7年10月1日現在
公簿上の外国人人口は
過去最大の108,480人
(前年比 +10,121人)

国籍・地域別では
中国が最多の25,822人で
外国人人口の **23.8%**を
占める

前年からの増加数は
ネパールが+3,099人と
最大

6 社会動態の日本人・外国人別集計（本編 p15）

社会増減数の推移（令和3年～令和7年）



(注) 市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

令和7年
**日本人・外国人とも
社会増は拡大**

日本人社会増減数は
10,533人の社会増
(前年比 +1,427人)

外国人社会増減数は
9,249人の社会増
(前年比 +2,514人)